

平成21年度 第8回 (11月) 理事会議事録

- 日 時 平成21年11月12日(木) 午後6時30分～7時50分
- 会 場 社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- 出席者 今井、暹天、竹浦、竹浦、吉本、高田、大垣、清水、荒木、田畑、高橋、井戸田、出野、山田、酒井、栗本、山西、小宮山、村上、(岩崎)
- 欠席者 宮野、東野
- 議 長 今井

- 今井、竹浦、吉本、高田、荒木
- 29日 大阪府医師会医療モニター懇談会
暹天
- 29日 堺市衛生検査所精度管理専門委員会
田畑、酒井
- 30日 第7回大阪臨床検査ISO15189研究会
井戸田、村上
- 31日 第5回府民健康フォーラム
今井、竹浦、吉本、高田、大垣、荒木、酒井、山田、山西

【討議内容】

I 行動報告 (10月分)

- 10月2日 第11回フォーラム医療の改善活動
全国大会in大阪
今井
- 2日 近臨技会長会議
今井
- 3日 大阪病院学会委員会
竹浦
- 3日 日臨技認定一般検査技師試験WG委員会
今井
- 4日 日臨技認定一般検査技師試験WG委員会
今井
- 4日 大阪病院学会
竹浦
- 6日 大臨技・大放技合同フォーラム会議
今井、清水
- 8日 理事会
今井、暹天、吉本、大垣、清水、荒木、高橋、出野、山田、宮野、高橋、栗本、山西、東野
- 9日 自動化学会
暹天、竹浦、井戸田、酒井
- 12日 データ標準化事業のためのサンプリング
今井、竹浦
- 12日 豊中市体育の日イベント
清水
- 15日 関西ホスピタルショー2009
今井
- 15日 情報組織部会
暹天、井戸田、酒井、山西、小宮山
- 15日 地区事業部会
田畑、出野、栗本、
- 20日 渉外部会
竹浦、清水、大垣
- 21日 総務・会計部会
暹天、吉本、荒木、山田
- 22日 大阪府地域医療推進協議会
今井、暹天、竹浦、吉本、高田
- 22日 堺市衛生検査所精度管理専門委員会
酒井、田畑
- 24日 南支部自由集會
田畑、出野
- 24日 石川県臨床衛生検査技師会
生涯教育研修会
暹天
- 24日 仏語圏アフリカ臨床検査技術コース
アクションプラン報告会と閉講式
今井、山田
- 25日 仏語圏アフリカ臨床検査技術コース評価会
今井
- 26日 学術部会
竹浦、高田、宮野、山西
- 27日 大阪市衛生検査所精度管理専門委員会
井戸田
- 28日 常務理事会

II 経過報告

- 1. 日臨技
 - 日臨技共催公益目的事業の「手話講演会」(12月5日開催予定)が承認された。本事業で使用するエイズ啓発ティッシュとポスターが事務所に届いた。
 - 日臨技選挙管理委員会から、会長の立候補者が複数名となり、副会長の立候補者も定員を超えたため、選挙実施の通知があった。
 - 第59回日本医学検査学会から一般演題座長推薦依頼(公衆衛生分野で1名、11月20日締切)があった。学術活動に関するアンケート依頼があった(11月30日締切)。
- 2. 近臨技
 - 10月3・4日に第14回近畿輸血検査研修会を大阪で開催した。
 - 11月2日に会長会議が開催された。
 - ① 12月12日にアルフレッサ大阪支店で第50回近畿医学検査学会シンポジウム打合わせ会議が開催される。
 - ② 第51回近畿医学検査学会は、平成23年10月29・30日に滋賀県のピアザ淡海で開催の予定。
 - ③ 日臨技の臨床検査値の基準範囲設定事業に際し、日臨技から各都道府県技師会に3万円、各参加基幹施設に3万支給される。
 - ④ 日臨技役員候補として各府県会長から中山(兵庫)、森嶋(大阪)、湯浅(京都)、玉置(和歌山)の4人が推薦され、近畿からの定員を3名に調整した。その結果、森嶋、湯浅、玉置の3名を近臨技からの候補者として選出することとした。
 - 11月29日(日)に、近臨技の理事会と学術部会が開催される。
- 3. 公益法人移行委員会
委員会は開催されなかった。
- 4. 事務局
 - 〈総務部〉
 - 10月21日に部会を開催した。
 - 大臨技ホームページのリニューアル後の状況について検討した。
 - 大臨技ホームページの求人情報掲載開始後の対応について検討した。
 - 大臨技行事予定表等の校正について検討した。
 - 携帯端末の調査状況を報告した。
 - 大臨技ニュース10月号を発行した。
 - 大臨技ホームページを更新した。
 - 〈会計部〉
 - 10月21日に部会を開催した。
 - 9月度収支決算書を作成した。
 - 日臨技へ9月分会費の送金を行った。
 - 〈渉外部〉
 - 10月20日に部会を開催した。
 - 府民健康フォーラムについて打ち合わせを行った。今回の府民健康フォーラム(10月31日開催)は、参

- 加者数が196名と前年度に比べ少なかった。
- 合同フォーラム第3回会議について説明を行った。
- 日臨技公益委託エイズ予防事業に関する打ち合わせを行なった。
- 手話講演会について打ち合わせを行った。
- 第32回献血推進活動の内容を検討した。
- 来年度事業について検討した。

5. 事業局

〈情報組織部〉

10月15日に部会を開催した。

- 職域部会についての最終打ち合わせを行った。今回の職域部会(11月6日開催)は、29名の参加があった。
- 検査運営研修会および技師長会について内容の追加確認をおこなった。
- 平成22年度日臨技主催の財務管理研修会(仮称)について日程および場所等の検討をした。日程については、平成22年10月を予定している。

〈地区事業部〉

10月15日に部会を開催した。

- 会員交流会について開催後の反省を行った。
- 11月15日の摂津健康展は、インフルエンザの影響で中止となった。
- 中央支部自由集会(テーマ:心電図、輸血に関して)は、12月5日に成人病センターで開催する。
- 北支部自由集会(テーマ:年末総決算)は、12月12日に開催する。

〈学術部〉

10月26日に部会を開催した。

- 理事会報告を行った。
- 第2回学術部講演会について話し合った。
- 第3回大臨技ICLSコース(平成22年2月28日、関西医科大学附属枚方病院にて開催予定)の報告をした。
- 平成22年度事業予定を12月の学術部会までに提出するよう伝達した。
- 学会報告を行った。

Ⅲ 他、報告

1. 大臨技バッジについて(竹浦副会長)

- 単価2,000円のバッジを50個作成した。作成費は、118,650円であった。

2. ペースメーカー外来業務会議報告(高田常務理事)

- 9月11講習会を開催し、関係者を含め40名の参加者があった。
- 今回の会議では、施設に合った方法でペースメーカー外来を立ち上げる結論となった。

3. 日臨技主管の総合管理部門研修の企画運営について(運天副会長)

- 情報組織部が担当し開催することとなった。開催日および会場は、平成22年10月23日(土)、24日(日)、大阪府病院年金会館で、詳細については、今後、情報組織部会で決める。

4. 日臨技理事推薦について

- 10月の理事会および常務理事会での討議により候補者を森嶋氏に決定し、11月2日の近臨技会長会議で正式に候補者として選出した。

5. 大臨技H21年度22,23年度役員改選について(運天副会長)

- 資料に基づき下記のとおり会員に向けての選挙管理日程の説明があった。
選挙告示1号:12月20日、立候補受付締切:1月31日、候補者名簿提出:2月5日、選挙告示2号:2月25日、定期総会報告:3月20日。

6. カプセル内視鏡体験会について(出野理事)

- 第1回カプセル内視鏡体験会を下記要領で開催する。
- 日 時:平成22年1月23日(土)14:30~16:30
- 場 所:オリンパスメディカルシステムズ(株)会議室
- 参加費:無料
- 共 催:オリンパスメディカルシステムズ(株)
- 参加方法:会員のみのメール予約で、30名限定とする。
- 大臨技ニュースに掲載案内を掲載する。
- 12月14日に内視鏡部会準備懇談会を開催し、内容について決定する。

7. 感謝状について(吉本常務理事)

- 感謝状授与候補者について、役員メーリングリストで送信する推薦状を入力し、12月の理事会までに、運天副会長へメール添付にて送信することとする。

8. 大阪府地域医療連携推進協議会報告(今井会長)

- 10月22日に標記会が開催され、大阪府および大阪市へ提出する要望書内容を決定した。大臨技からは、会長、副会長および常務理事5名が参加した。

9. その他

- 第59回日本臨床検査学会事務局から演題募集(11月30日期限)についての協力要請があった。
- 11月18日開催の「エイズ問題に関するシンポジウム」について、大阪府医師会より、大阪府地域医療推進各団体に対し10名の参加要請があった。
- データ標準化事業について
 - サーベいの許容範囲は、正常域については生理的許容限界、異常域については基準施設の平均±2SDとした。
 - ドライケミストリーにおいては、上記の許容範囲は厳しい基準となるが、標準化サーベいは通常のサーベイとは性質が異なること、また賛助会員の同意が得られたことにより、一括して評価することとした。
 - 2週間以内に速報を公表し、早い時期にサーベイ参加証を送付する。
 - 来年度も事業を継続する場合のサーベイ候補日は、平成22年10月18日を予定している。
- 12月1日に、大臨技が大阪府赤十字血液センターから献血功労団体として表彰されることになった。
- 近臨技学会で大臨技一般演題推薦14名のうち8名が座長として登録された。
- エイズ予防に関する事業におけるティッシュ配布のために申請した道路許可証が発行された。
- 日臨技から各賞の受賞候補者の推薦依頼が届き、12月の理事会までに該当する候補者を推薦する。

Ⅳ 議題

1. 大臨技総会について(吉本常務理事)

- 大臨技総会の経緯資料を基に、今後の大臨技総会の開催形態等について討議した。
- 本年度の第2回定期総会については、例年どおり施設連絡者会の後に続き開催することとした。
- 議長および委員の担当は現行どおりとすることとした。
- 次年度からの総会の開催形態等については、今後、検討することとした。

2. 日臨技免疫血清部門からの事業依頼について(高田常務理事)

- 表記について、理事会の承認を得た。

3. その他

- 大臨技ニュースへの研修会開催案内の掲載依頼が他団体よりあり、掲載の不可について検討した結果、掲載条件を満たさないため、今回は掲載しないこととした。また、今後の対応のため、大臨技ニュース掲載に関する規程を作成することとした。
- 平成22年度マタニティカーニバルの後援名義の依頼が届き承認することとなった。
- 12月の理事会に、平成22年度の各部会予算を提出することとした。